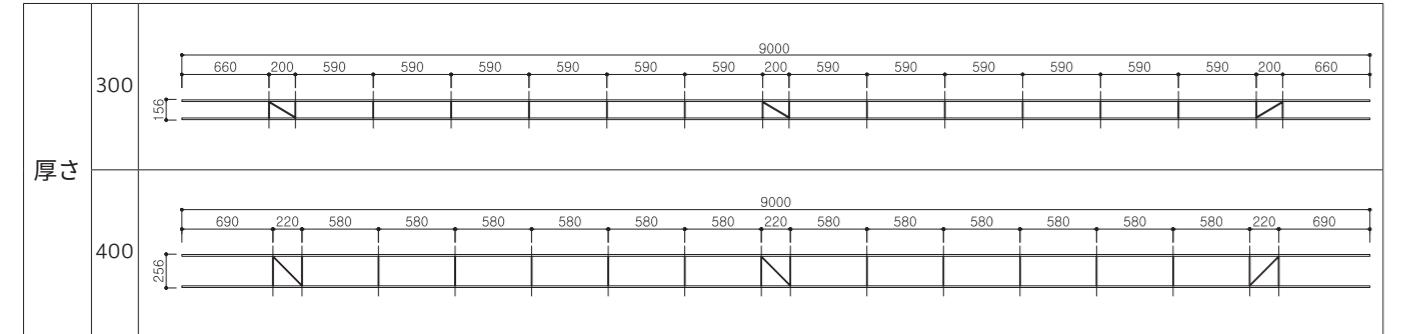


種類

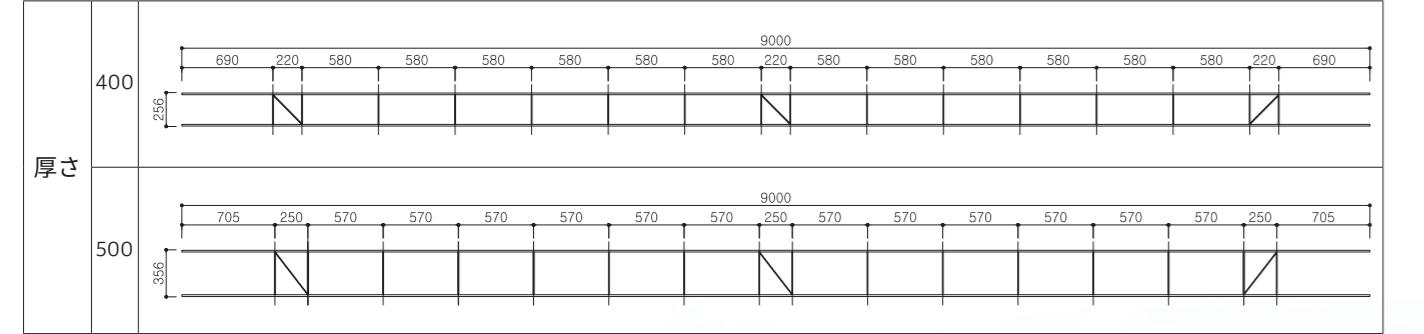
厚さ別荷重によって応力を計算して安全率に合うように製作されます。

マット基礎の鉄筋と連続バーチェアの鉄筋規格が異なる場合、マット基礎鉄筋の間隔を調整して配置します。

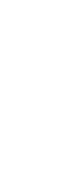
- マット基礎の主鉄筋D13、連続バーチェア鉄筋D13の場合(fy=500MPa)



- マット基礎の主鉄筋D16、連続バーチェア鉄筋D13の場合(fy=500MPa)



現場施工写真



開発元：株式会社バロ建設技術

〒ソウル特別市江東区風城路38ギル9バロビルディング6F

✉ www.baro-ck.com

📞 T/ 02.413.6503 F/ 02.413.6503

✉ baro-ck@baro-ck.com

株式会社 SOA DESIGN(株式会社バロ建設技術 日本販売代理店)

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-9-7-201号

担当：李 烏勲 (イ ヒョンファン)

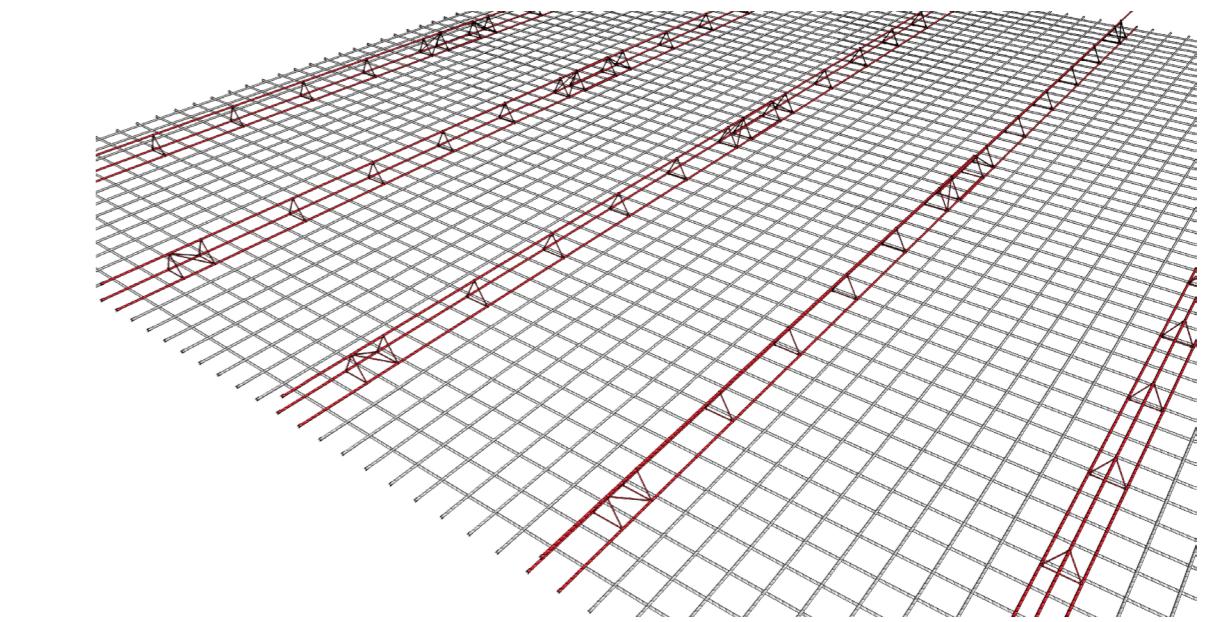
📞 T/ (03)6411-5507 F/ (03)6411-5507 M/ 080-5486-0102

✉ leehh@soa-design.co.jp ✉ www.baro-ck.com



鉄筋馬よりもっと安全で早く!!

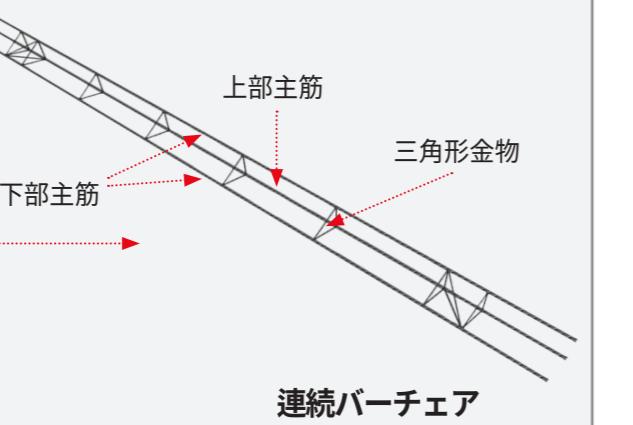
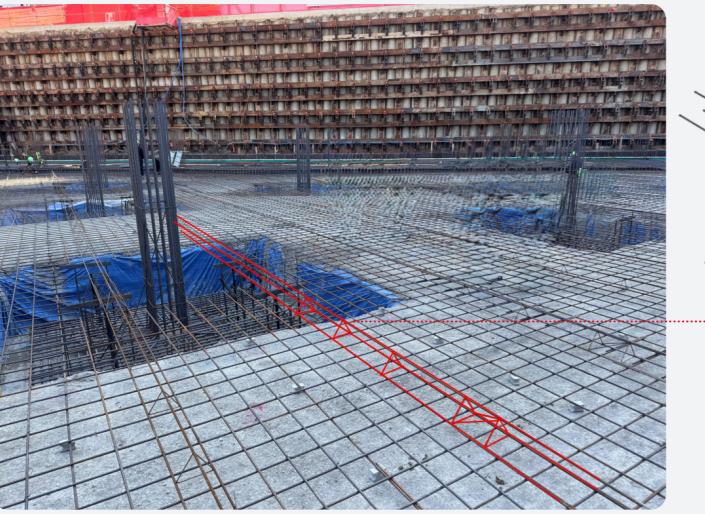
連続バーチェア



バロナ

連続バーチェアとは？

厚さ250~500mmの比較的に薄い基礎に利用できる鉄筋の架台役割装置として、
上部主筋と下部主筋を三角形の金物で結束して配筋の位置にそのままおいておけばOKです。



経済的

一つ一つ設置する鉄筋馬の設置工程が要らないので、
資材費、人件費、工期節減 OK!!



安全

連続されている三角形トラス形態で**安定的形態**で、鉄筋馬に比べて
広い間隔で設置可能のため作業者の通路確保及び安全性 UP!



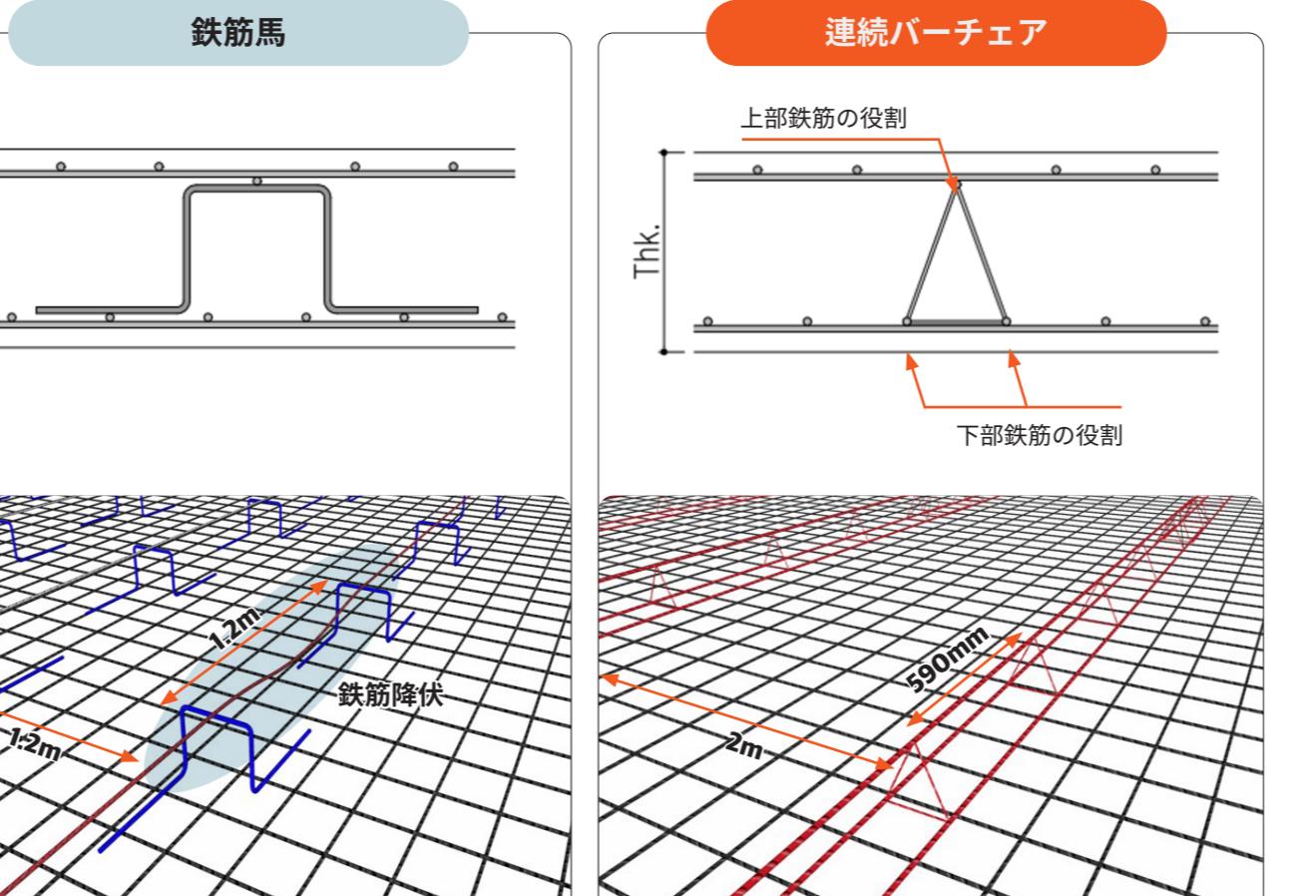
速い

事前に工場で製作するため、現場では一気に設置だけで終わり!
鉄筋馬に比べて**3倍速い設置速度**

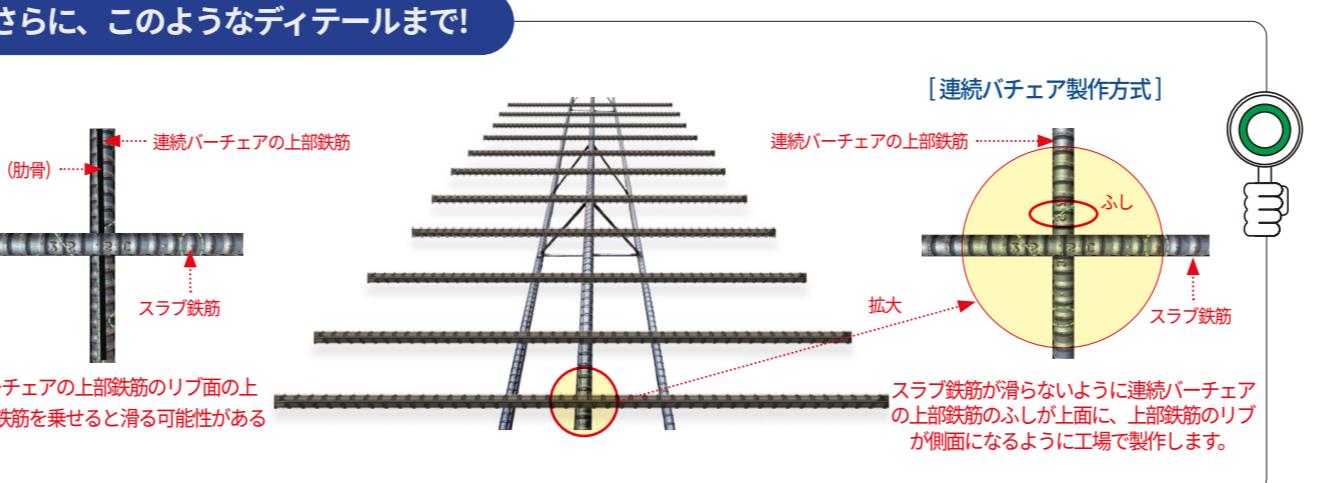


特徴

- 鉄筋馬は「1.2m x 1.2m」の間隔で設置するが、大引き鉄筋がD13の場合
1.2m 間隔としては計算上降伏して永久たわみが生じる可能性がある
- 連続バーチェアは支持間隔が680mmであるため構造的に安全
- 構造的安定性を用いて既存の帽子型鉄筋馬に比べて設置間隔を広く(2m)適用可能
- 連続バーチェアの本体の鉄筋そのものが下部鉄筋及び上部鉄筋の役割→ただのスペーサーではない



さらに、このようなディテールまで!

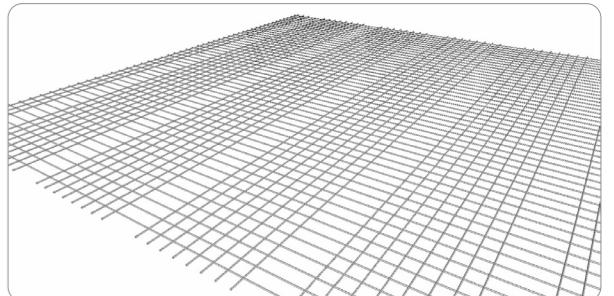


施工手順

01

基礎下部鉄筋配筋

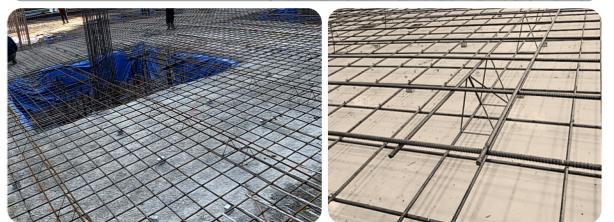
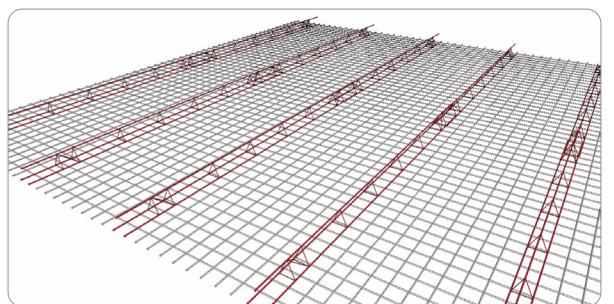
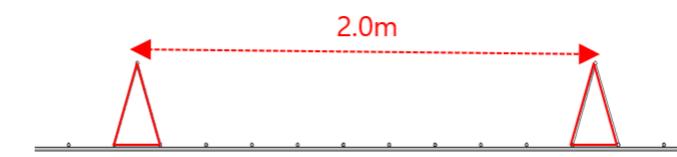
連続バーチェア本体下部鉄筋と重複される下部鉄筋は除く



02

人力で連続バーチェア設置

2.0m以下の間隔で設置



03

基礎上部鉄筋配筋

連続バーチェア本体上部鉄筋と重複される上部鉄筋は除く

